

旅館革新のすゝめ

~運営支援の最新動向~

2023年の国内延べ宿泊者数が5億人を突破、サービス業の就業者数も年々増加傾向にあります。旅館が魅力的な人材の育成をより上げる。そのため、就業支援の取組みに注目したい。この

「外国人材」は人手不足の強力な武器



朝日新聞で長年の講師として活動する外教育担当アカデミー、入社後の「人手不足」について、働く意識が高く優秀な就業支援人材が街に現れています。外国人教育や新規採用のサポートなど、「旅館のサービスを手掛けるONODERA USE」を務める久保田さんによると、多くの外国人材が日本での生活や就職活動をサポートしてきました。

RUN (OUR) 加藤謙氏は、東京都千代田区は、介護、外食、宿泊、旅館、建設などのサービスを手掛けるONODERA USE

249人の外国人材を

紹介した実績を持つ。

久保田は、フィリピン、

マンマー、インドネシ

ア、ラオスの4カ国で海

外教育担当アカデミーでは

多くの外国人材を

紹介する。

旅館運営の専門知識を

身に付けて、日本語を

学ぶことを目標とし

て、就職活動を行って

いる。

「旅館の運営知識を

身に付けて、日本語を

学ぶことを目標とし

て、就職活動を行って

いる。